



塾通信 ひまわり 13号 2023 9月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

9月中旬が過ぎたのに、まだまだ暑い日が続いています。夏の疲れも出てきて、体調も崩しやすいです。早寝・早起き規則正しい生活をして、学習習慣（塾に帰ったら、まず30分机に向かう）を作っていきます。中学生は、もうすぐ中間テストです。受験生の中学3年生は、2学期の成績が私立併願優遇や都立の内申点として評価されます。悔いが残らないように、全力を尽くしましょう。



1) 8・9月の活動報告

(1) 8月30日(水)裁判傍聴

9時半に裁判所に到着し、まず玄関で手荷物検査と金属探知機で危険物があるかないかの検査を受けました。空港の検査と同じです。

まず、弁護士の揚野先生に挨拶して本日の流れを説明してもらいました。事前に揚野先生から小学生・中学生にわかり易い事件として薬物事件を選んでもらいました。薬物事件は、学校でも座学で学習している内容です。実際に薬物を使ってしまった人がどう裁かれていくのか。

今回は人数が多かったため2つの班に分かれて、傍聴しました。私（加藤）の班は、若い男性が大麻を吸って起訴された事件でした。

起訴状の朗読から、弁護人の反論、証人尋問、本人尋問がありました。被告人も起訴事実を認めていることから、判決まで出ました。（1回の裁判で、判決までいくのはめずらしい）刑事事件の全ての過程を見学できたのは良かったです。

ここまでは、普通の傍聴見学です。当塾の裁判傍聴の特色は、この後にあります。判決が出れば、閉会になり終了です。しかし、担当裁判官が私たちに向かって「今の裁判について質問ありますか？」と問いかけてきたのです。せっかく質問ありませんかと聞いてきたので、生徒に「質問してください。」と言いました。

しかし、みんな遠慮して誰も質問しませんでした。そのため、裁判官に申し訳ないので私が質問

しました。

質問者：どうして、被告人に対して執行猶予3年の判決を出したのですか？

裁判官：被告人が初犯で反省していた。そして、被告人の姉が証人として出頭して「弟の面倒をみて、2度と大麻などをやらせないようにします」と誓ったので、その言葉を信じました。そのため、被告人を刑務所に収監させるよりも執行猶予にしたほうが良いと思いました。そして、執行猶予3年にしたのは、1年では短すぎるし、5年では長すぎると思い、真ん中を取って3年にしました。

裁判官の胸の内を説明してくれました。それから、犯罪件数など日本の状況を説明してくれました。

最後の裁判官は私たちに次の言葉をかけてくれました。

裁判官：今日本の司法制度で裁判員制度があります。裁判員とは、18歳以上の国民から選ばれた人が裁判官と一緒に裁判し判決する人たちです。君たち（児童・生徒）も将来18歳になったら、私たちと一緒に仕事をするかもしれません。その時を楽しみにしています。勉強など頑張ってください。

私たちに激励の言葉をかけてくれました。
お昼は、農林水産省の職員食堂で食べました。
ランチメニューに食材の自給率が書いてありました。(写真①)

午後の裁判傍聴は裁判員裁判をしました。この事件は外国人が被告人で通訳人が通訳しながら裁判が進められていました。外国人が覚せい剤を密輸した事件でした。事実関係の確認のやり取りが続いていました。1時間見学し、証人待合室に行きました。そこで、今日の裁判傍聴の振り返りと揚野弁護士に仕事について質疑応答をしました。

学校と違うので、たとえへんな質問しても成績に関係ないので大丈夫です。そのため、安心していろいろな質問ができました。事前に考えたことの質問もあったので、さすがと思いました。

児童：仕事のやりがいは、何ですか？

揚野弁護士：感謝されて、ありがとうございます。
とお客さんから言われたときです。

これは、どんな仕事でも同じですね。
8年前から、毎年の夏に実施している裁判傍聴です。最近、中学生・高校生の見学・親子連れなどが増えてきた印象があります。裁判員制度をより国民に知ってもらうために、裁判所はいろいろ宣伝しています。その効果が出てきたのかもしれませんが。

とても有意義な傍聴見学の一日でした。



(2) 9月1日～3日島根県高校視察

簡単に学校の印象を書いてみました。あくまで、私の感想なので、ホームページや合同説明会に参加され、お話を聞かれるといいと思います。

- ①島根県立浜田水産高校
→海のプロを養成する学校
- ②島根県立江津工業高校
→ものづくりのプロを養成する学校
- ③私立キリスト教愛真高校
→心を磨き、人生の生き方を学び、生きる力を身につける学校
- ④県立大田学校
→自然と歴史、文化に恵まれた環境で、高いレベルの進学を目指す学校
- ⑤県立横田学校
→地域と連携し、本物の探究学習を実践できる学校
- ⑥私立島根リハビリテーション学院
→優秀な理学療法士を育成し、全国から求人は400以上、就職率100%を誇る学校

(3) 都内私立学校訪問

- ① 6日(水) 二松学舎大学付属高校
- ② 7日(木) 北豊島中学・高等学校
- ③ 11日(月) 京華女子中学・高校

(4) 東京都私立高校の先生方と懇親会



島根高校に視察から帰って、すぐ東京都私立高校に訪問に行きました。島根と東京の違いがよくわかりました。二松学舎大学付属高校・北豊島学校は、校庭がありません。地域との関わり方も、

かなり違います。島根の高校生が、地元の小学校に出前授業に出かけ、自分の学校のアピールしていました。

島根の高校の先生・校長・東京都の先生・校長先生と意見交換して、とても感じことがあります。

① それは、先生方の熱い思いです。

「今の世の中、1年後も想像できない変化の激しい時代になっている、内に閉じこもってはいけなと感じ、積極的に外に出ていかなければならないと思っています。」

みなさん、熱い先生方でした。閉鎖的な学校が多い中、失敗を恐れず積極的に改革して、少しでも子どものために前に進めていく学校です。こんな学校を児童・生徒に紹介したいですね。

② 探求型の勉強と実社会との関連性をつなげて教科学習に力を入れ始めています。

各学校によって、いろいろな違いがありますので、ホームページや合同説明会で調べてみると学校選択の1つの基準になると思います。

当塾も私立中学・私立高校・都立高校の探求型につながるように社会科見学などを夏休みに計画していきます。

また、大学受験も総合選抜（推薦型）が半数を超えていく時代になりました。大学受験を考えているならば、より探求型の勉強で自分の興味ある学問分野を見つけることができれば、勉強することがたいへん楽しくなります。



(5) 青少年の翼:報告は次号で

青少年の翼に参加した生徒の報告は次号になります。

その生徒は、金曜日に塾にきます。私が金曜日に会議で教室にいないことが多く、くわしく話をまだ聞いていないからです。電話では、話をしました。



2) 10月の予定

(1)漢字検定試験：

実施日：10月28日（土）

時間：17：00～18：00

(2) 28日（土）

千葉県の私立高校の先生方と意見交換会

コロナによる規制がほぼなくなったため、対面で私立・公立の先生や社会で活躍している人たちと会う機会を増やしています。

これが日々の授業や子どもたちの指導に役立つと思います。

また、何か質問などがありましたら、ぜひコメントなどでコメント下さい。

